**平成27年度　全国学力学習状況調査の結果について**

**岩国市教育委員会**

**１　調査の概要**

**（１）目的**

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

**（２）調査期日**平成２７年４月２１日（火）

**（３）平成２７年４月２１日(火)に調査を実施した学校数・児童生徒数**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **学年** | **学校数** | **児童生徒数** |
| **小学校第６学年** | 岩国市立小学校　３４校 | １１７９　人 |
| **中学校第３学年** | 岩国市立中学校　１５校 | １０６７　人 |

**（４）調査の内容**

　　①　教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

　　　　　問題Ａ…主として「知識」に関する問題

問題Ｂ…主として「活用」に関する問題

※理科は「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に出題

　　②　生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

ア　児童生徒に対する調査 【小学校…８７項目　中学校…８７項目】

イ 学校に対する調査 　　【小学校…１１２項目　中学校…１１０項目】

**２　結果概要**

**（１）教科に関する結果**

**①　平均正答率**

　○　小学校

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B | 理科 |
| 岩国市 | ７１．０ | ６４．９ | ７５．０ | ４３．６ | ６１．１ |
| 全国 | ７０．０ | ６５．４ | ７５．２ | ４５．０ | ６０．８ |
| 山口県 | ７２．１ | ６７．５ | ７７．１ | ４６．４ | ６２．７ |

○　中学校

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B | 理科 |
| 岩国市 | ７６．４ | ６６．５ | ６５．７ | ４１．７ | ５３．２ |
| 全国 | ７５．８ | ６５．８ | ６４．４ | ４１．６ | ５３．０ |
| 山口県 | ７６．４ | ６６．３ | ６５．３ | ４２．４ | ５３．０ |

**②　全体の結果**

**○　全国平均との比較（平均正答率）**

小学校では、国語Ａで全国平均を上回っている。

　　　中学校では、すべてで全国平均を上回っている。

**○　県平均との比較（平均正答率）**

　　　小学校では、すべてで県平均を下回っている。

　　　中学校では、国語Ｂ、数学Ａ、理科で上回っている。

**③　教科ごとの結果**

【小学校国語】

　　・問題Ａ：全国平均を上回っているが、県平均を下回っている。

　　・問題Ｂ：全国平均及び県平均を下回っている。

　【小学校算数】

　　・問題Ａ：全国平均及び県平均を下回っている。

・問題Ｂ：全国平均及び県平均を下回っている。

　　【小学校理科】

全国平均を上回っているが、県平均を下回っている。

【中学校国語】

　　・問題Ａ：全国平均を上回っているが、県平均と同じである。

　　・問題Ｂ：全国平均及び県平均を上回っている。

　【中学校数学】

　　・問題Ａ：全国平均及び県平均を上回っている。

・問題Ｂ：全国平均を上回っているが、県平均を下回っている。

　　【小学校理科】

全国平均及び県平均を上回っている。

**（２）生活習慣や学習環境に関する結果**

**①　児童生徒に対する調査**

　　【望ましい状況】

　　　○**《規範意識》**いじめは,どんな理由があってもいけないことだと思う子どもの割合は全国と比べて高い。また、人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合も全国と比べて高い。

　　　○**《家庭でのコミュニケーション等》**家の人が、授業参観や運動会などの学校の行事によく来る子ども、家の人と学校での出来事についてよく話す子どもの割合が全国に比べて高い。

　　　○**《学習・授業》**授業中、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う子ども、話し合う活動をよく行っていたと思う子ども、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う子どもの割合が全国に比べて高い。

　　【課題とみられる状況】

　　　●**《家庭学習》**家で宿題をしている子どもの割合は高いが、平日の学校の授業時間以外や学校の休みの日に、1時間以上学習する子どもの割合は、全国と比べて低い。

　　　●**《社会に対する興味・関心》**地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある子ども、新聞を読んでいる子どもの割合は全国に比べて低い。

**②　学校に対する調査**

　【望ましい状況】

○**《学習態度》**授業中の私語が少なく、子どもが落ち着いており、礼儀正しいと答えた学校の割合は全国に比べて高い。

○**《授業》**授業のはじめに目標（めあて・ねらい）を示す活動や学級やグループで話し合う活動を取り入れた授業をよく行う学校の割合は全国と比べて高い。

○**《全国学力・学習状況調査等の活用》**調査結果を学校内で共有し、保護者や地域の人たちに対しても、公表や説明を行い、結果を踏まえた学力向上のための取組について働きかけを行った学校の割合が全国に比べて高い。また、結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導等への反映を行っている学校の割合が全国に比べて高い。

【課題とみられる状況】

　　　●**《言語活動の場》**学級やグループで話し合う活動を授業で行う学校の割合は全国に比べて高いが、資料を使って発表ができるように指導した学校の割合が全国より低い。

**（３）今後の対応**

**○年２回の改善検証サイクルの確立**

・学力状況の把握と分析に基づき、指導の工夫改善を図る検証改善サイクルの確実な定着を図る。

**○岩国市：授業スタンダードの徹底**

・整頓された教室

・目標の提示―表現活動―振り返りのある授業

**○学習習慣の確立**

・家庭・地域とも連携して児童生徒の学力向上・学習習慣の確立に向けて、取組を充実する。

**３　参考データ等**

**（１）教科ごとの結果**

**①　小学校国語**

　国語Aについては、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。国語Bについては、県平均・全国平均ともに下回っており、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

　（A）第５学年までに学習した漢字を読むこと

　（A）説明の文章の書き方の工夫を捉えること

【課題のある点】

　（A）コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜くこと

（B）目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと

**②　小学校算数**

　算数A・算数Bともに全国平均・県平均を下回っており、知識・技能の定着と知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

　（A）整数や分数の四則計算をすること

　（A）式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解すること

【課題のある点】

　（B）示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めること

（B）長方形の面積を２等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述すること

**③　小学校理科**

　理科については、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着と知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

　　○メダカの雌雄を見分ける方法を理解すること

　　○打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析すること

【課題のある点】

　　○顕微鏡の適切な操作方法を身に付けること

　　○析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述すること

**①　中学校国語**

　国語Aについては、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。国語Bについては、県平均・全国平均ともに上回っており、知識・技能の活用する力に成果が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

　（A）相手の反応を踏まえて話すこと

　（A）文章から適切な情報を得て、考えをまとめること

【課題のある点】

　（A）品詞の類別について理解すること

（B）複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと

**②　中学校数学**

　数学Aについては、全国平均・県平均ともに上回っており、知識・技能の定着に成果が見られる。数学Bについては、全国平均は上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

　（A）小数を含む一元一次方程式を解くこと

　（A）与えられた投影図から空間図形を読み取ること

【課題のある点】

　（B）事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明すること

（B）資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

**③　中学校理科**

　理科については、全国平均・県平均ともに上回っているものの、知識・技能の定着と知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

　　○塩化ナトリウムを化学式で表すこと

【課題のある点】

　　○他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明すること

　　○音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画すること